

相模原市民ギャラリー・アートスポット展示
心に残るあの作家シリーズ#14

昭和の双子姉妹画家 山本松枝・梅枝 展

相模原初の本格的な女性日本画家とも言える山本姉妹の画業を、ミニ展示としてご紹介します。

- 【会 期】 平成30年11月3日(土・祝)
～平成31年1月13日(日)
午前9時～午後5時 (水曜日休館)
- 【会 場】 相模原市民ギャラリー・アートスポット
(JR横浜線「相模原駅」駅ビル・セレオ4F)
- 【作品数】 14点(軸装・額装)(昭和7年から50年代まで)
学芸員による閲覧用紹介文(13ページ)あり



松枝(左)・梅枝(右)
大正14年(11歳)



山本梅枝「南天と
メジロ」(昭和7年)



山本梅枝「からすうり」
昭和7年
(制作当時19歳)



山本松枝「少女」
昭和33年



山本松枝「厨房」
昭和50年代



山本松枝「初冬の頃」
昭和30年代

大正3年(1914)相模原の下九沢に生まれた山本松枝・梅枝の双子姉妹は、昭和5(1930)年に二人そろって女子美術専門学校(現・女子美術大学)に進学。本格的に日本画を学びます。二人は若い頃からその才能を発揮しますが、妹の梅枝は結婚を機に画家活動を中断。齢を重ねてから再び絵筆を手にします。逆に姉の松枝は絵画制作に没頭。日本画の大家・小倉遊亀に師事し、日本画家の登竜門「院展」に何度も入選をするような活躍見せます。

【問合わせ先】

相模原市民ギャラリー

電話：042(776)1262

【担当】 柳川 (水曜日休館)